

1. 園の教育目標

・教師や友達との信頼関係の中で安定感を持って園生活を送りながら自分で考えて行動し、主体的に活動する子どもを育てる。

2. 今年度の重点目標

・評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することにより、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、教育の質の向上や施設の改善に主体的に取り組んでいく。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	取組み状況
指導計画の作成と評価（週案・日案） ・子どもの実態を十分把握し、発達状況を考慮して案を立てているか	・常に子どもの様子を観察、実態を把握し子ども一人ひとりの発達状況を考慮しながら立案するように努めている。 ・指導法についての疑問や不安に思ったことは職員間で話し合い指導内容を検討し、立案に役立てている。
指導計画の作成と評価（行事） ・それぞれの行事について、子どもの発達を考えながら実施、子どもの実態やねらいなどについて教職員と話し合い、見直しを行っているか	・クラスの子どもの年齢や実態を考慮し、日々の遊びや活動の延長として行事に取り入れ、子どもの負担にならないよう計画したつもりであるが、予想外の活動や天候、感染症流行などの予測不能事態を考慮しておらず、結果的に子どもに負担をかけてしまった。
教育環境の構成 ・子どもを温かく受け入れるような環境をつくり、人とかかわる力が育つような配慮をしているか	・自由遊びの時間は、子どもと一緒に遊んだり、「わらべうた」や体操などを通してふれあい遊びをすることで、異年齢の友達とのコミュニケーションを取るきっかけになるようにした。
幼児の観察と理解 ・子どもの話を聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるよう努めているか	・子ども一人ひとりの観察を十分行い、表情や行動の変化も見逃さないようにして、子どもの声に耳を傾け気持ちに寄り添い受け止めるよう努めている。 ・担任以外にも心を開くことができる場を作るようにし、全職員でサポートできる体制をとっている。

<p>教職員同士の協力・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものことについて常に教職員間で話し合い、クラスをこえて情報を共有しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時、降園時の保護者からの連絡や預かり保育の時間の様子など、担任が知らない情報は、伝え合っているつもりであったが、勤務時間などの関係で、十分共通理解できているとは言えなかった。
<p>研修・研究への意欲、態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の保育については自己課題を持って計画と反省を行い、そこで得た悩みや学びを他の教師と話し合うことができるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・週案、日案の反省を振り返るよう心がけ、問題点などは上司や他の職員に相談したりアドバイスを受け、解決するようにしている。
<p>安全への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な言葉かけを行っているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、遊具の点検を行っている。 ・危険を及ぼすような状況が生じた際は、すぐに全職員で情報交換を行い対処している。
<p>安全管理体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時（事故やけが、感染症の発生時など）の対応手順について、全教職員が共通理解を持てるよう取り組んでいるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の対応手順については、必要性や重要性は分かっているが、危機管理に対しての意識に欠ける。 ・避難訓練は計画や内容の見直しを行う必要がある。 ・ヒヤリハットを作成し原因究明、再発防止に役立てている。
<p>情報の発信と受信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園だよりやクラスだよりにて日々の保育の様子を知らせ、個々の子どもの様子は保護者に直接話をしたり、連絡帳を使って伝え合っているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりやクラスだより、ホームページでは日々の保育の様子だけでなく、指導に伴う考えも知らせるようにし、園の教育方針に保護者の理解が深まるようにしている。 ・個々の子どもの様子は連絡帳を利用したり、直接保護者へ話すことで知らせている。
<p>情報の発信と受信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育中のけがや病気については、速やかに保護者へ連絡を入れ、状況や原因の説明の上、病院へ搬送するなどの対処をしているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育中のけがは職員で状況を検証し、一人で判断せず、所属長へ報告、相談し、保護者に適切に対応するようにしているが自己判断をしたことで、けがが悪化するなどの事態が起こった。 ・病院への搬送は事前に保護者に連絡をし、状況や原因を説明している。
<p>地域への開放と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園が持つ専門的な技術や情報、環境、設備などを地域に開放・提供し、子育て支援に取り組んでいるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験保育（のびのび）を開催し、未就園児の遊びの場や保育体験ができる場を提供している。のびのび通信では子どもの遊びや育児に必要な情報の発信をしている。

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
<ul style="list-style-type: none">・ 指導計画（週案、日案、行事）・ 教職員同士の協力・連携・ 安全管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none">・ 子ども一人ひとりの興味や関心に応じた環境の工夫をし、様々な体験ができるような保育を心がける。・ 前年度を振り返り、参考にしながらさらに保育活動の時期を調整することで、行事に対する取り組みで余裕を捻出する。・ 教師間での報告、連絡、相談を徹底することの重要性を全職員で再確認し、時間を有効に使って課題を話し合ったり、情報交換をしたりしてコミュニケーションが取れるようにする。 話しやすい環境作りを行う。・ 子どもだけでなく保護者への対応は自己判断せず、上司に相談し、事後報告を行い職員間で共通理解する。・ 万一の自然災害、様々な危険に対して内容や計画、職員配置などの見直しを行い、職員会議などで全職員への周知、研修を行う。

5. 学校関係者評価委員会の意見

--